



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月30日

上場会社名 サノヤホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7022 URL <https://www.sanoyas.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北達 伊佐雄
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 福井 直也 (TEL) 06-4803-6171
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	15,961	4.5	38	—	118	—	169	—
2024年3月期第3四半期	15,277	14.8	△416	—	△289	—	△410	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 303百万円(148.6%) 2024年3月期第3四半期 122百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第3四半期	5.10		5.04	
2024年3月期第3四半期	△12.23		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	30,755	29.6	9,168	29.6	9,110	29.6
2024年3月期	27,249	33.3	9,137	33.3	9,078	33.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 9,110百万円 2024年3月期 9,078百万円

(注) 「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度の連結財務諸表を組み替えております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2024年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	24,000	2.8	350	△31.3	400	△37.1	400	△12.9	12.04	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3). 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	33,827,582株	2024年3月期	33,814,782株
2025年3月期3Q	615,473株	2024年3月期	47,248株
2025年3月期3Q	33,209,545株	2024年3月期3Q	33,603,976株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は
監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	前第3四半期 (2024年3月期)	当第3四半期 (2025年3月期)	増減額	増減率 (%)
売上高	15,277	15,961	684	4.5
営業利益	△416	38	455	—
経常利益	△289	118	407	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△410	169	580	—

売上高は、建設業向けセグメントにおいて機械式駐車装置の製造及びメンテナンス、大規模施設向け動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造が好調に推移、またレジャーセグメントにおいて大型の遊園地遊戯機械設備が完工したことから増収となりました。

売上高の増収に伴い前年同期比で増益となり、営業黒字に転換しました。

(単位：百万円)

	前第3四半期 (2024年3月期)	当第3四半期 (2025年3月期)	増減額	増減率 (%)
受注高	16,473	14,839	△1,634	△9.9
受注残高	17,165	15,558	△1,606	△9.4

受注高は、レジャーセグメントにおいて前第1四半期に大口案件を受注した反動により、減少しました。また前年同期比の受注残高の減少は、遊園地遊戯機械設備における大口案件の完成・引き渡しや大規模施設向け動力制御盤・分電盤・配電盤等の受注残高減少によるものです。

セグメント区分

	製造業向け セグメント	建設業向け セグメント	レジャー セグメント
サノヤス・エンジニアリング(株) 機械式駐車装置の製造及びメンテナンス ショットブラストマシンの製造及びメンテナンス 建設工事用エレベーターの製造及びレンタル	○	○ ○	
サノヤス精密工業(株) 各種産業機械部品の製造及び組立 農機及び特装自動車用部品の製造及び組立	○ ○		
みづほ工業(株)、美之賀機械(無錫)有限公司 乳化・攪拌装置の製造 純水設備・排水処理設備及び膜分離装置の設計及び施工 大型食品タンク等各種タンクの設計及び施工	○ ○ ○		
サノヤス・エンテック(株) 空調・給排水・衛生設備の設計及び施工 環境装置の製造及びメンテナンス 医療廃棄物処理装置の製造及びメンテナンス	○ ○	○	
ハピネスデンキ(株) 大規模施設向け動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造 及び電気工事		○	
松栄電機(株)、松栄電気システムコントロール(株) 通信インフラ向け配電盤・分電盤等の製造		○	

	製造業向け セグメント	建設業向け セグメント	レジャー セグメント
サノヤス・ライド(株)、サノヤス・ライドサービス(株) 遊園地遊戯機械設備の製造及びメンテナンス 遊園地施設の運営管理の受託			○ ○

(製造業向けセグメント)

(単位：百万円)

	前第3四半期 (2024年3月期)	当第3四半期 (2025年3月期)	増減額	増減率 (%)
売上高	6,591	6,036	△554	△8.4
営業利益	432	386	△46	△10.8
受注高	5,623	6,745	1,121	19.9
受注残高	5,031	5,216	185	3.7

売上高は、ショットブラストマシンの製造及びメンテナンスや各種産業機械部品の製造が堅調でしたが、乳化・攪拌装置の製造が低調で前年同期比で減収。売上高の減少に伴い営業利益も減益となりました。

受注高は、乳化・攪拌装置の製造が回復してきたことや各種産業機械部品の製造が堅調に推移、結果、受注残高も積み上がっています。

(建設業向けセグメント)

(単位：百万円)

	前第3四半期 (2024年3月期)	当第3四半期 (2025年3月期)	増減額	増減率 (%)
売上高	6,311	7,298	987	15.6
営業利益	△150	547	698	—
受注高	8,560	7,079	△1,480	△17.3
受注残高	10,442	9,509	△933	△8.9

売上高は、機械式駐車装置の製造及びメンテナンス、動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造・販売、空調・給排水・衛生設備の設計及び施工が好調に推移した結果、大幅な増収。売上高の増加に伴い、営業利益も増益となりました。

受注高は、機械式駐車装置の製造及びメンテナンスが引き続き好調に推移している一方、動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造が低調で、受注残高も減少しています。

(レジャーセグメント)

(単位：百万円)

	前第3四半期 (2024年3月期)	当第3四半期 (2025年3月期)	増減額	増減率 (%)
売上高	2,374	2,626	251	10.6
営業利益	383	284	△98	△25.7
受注高	2,289	1,014	△1,275	△55.7
受注残高	1,691	832	△859	△50.8

売上高は、遊園地遊戯機械設備の製造及びメンテナンスが増加したものの、営業利益は収益性の高い遊園地施設の運営管理において休日の天候不順等により来場者数が減少した結果、増収減益となりました。

受注高・受注残高は、前第1四半期に大口の遊園地遊戯機械設備を受注した反動で前年同期比では減少しています。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(単位：百万円)

	前会計年度	当第3四半期	増減額	主な増減理由
流動資産	12,446	15,686	3,240	売掛金 △2,565 現金及び預金 2,740 その他流動資産 1,316 仕掛品 1,256 契約資産 499
固定資産	14,803	15,068	265	投資有価証券 239
流動負債	12,025	13,773	1,748	支払手形及び買掛金 △331 賞与引当金 △214 未払法人税等 △197 電子記録債務 △152 短期借入金 1,600 契約負債 882
固定負債	6,085	7,813	1,727	長期借入金 1,684
純資産	9,137	9,168	30	資本金 △2,567 資本剰余金 2,569

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績を踏まえ、前回予想を修正しております。詳細は2025年1月30日付にて別途開示しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

(今後の当社グループの業績におけるリスク要因)

- ・地政学リスク等による部品・部材調達の遅れや原材料価格の上昇が製造業向け・建設業向けセグメントに影響を与えるリスク
- ・天候不順や各種災害、コロナ感染の再拡大やインフルエンザの流行がレジャーセグメントの事業環境悪化を招くリスク
- ・金利上昇による有利子負債の支払利息増加により、金融収支が悪化するリスク
- ・台風や地震等自然災害が当社や協力会社などのサプライチェーン及び顧客に与えるリスク
- ・グローバル経済の減速が顧客の売上や設備投資に影響するリスク

今後、こうした要因を含め、通期業績予想の修正開示が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,626	4,367
受取手形	275	279
売掛金	4,766	2,200
契約資産	744	1,243
電子記録債権	1,272	1,277
商品及び製品	266	287
仕掛品	1,491	2,747
原材料及び貯蔵品	1,290	1,252
その他	726	2,042
貸倒引当金	△14	△12
流動資産合計	12,446	15,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,144	3,040
機械及び装置（純額）	1,797	1,603
土地	2,831	2,831
その他（純額）	386	575
有形固定資産合計	8,159	8,051
無形固定資産		
ソフトウェア	509	548
のれん	589	522
その他	17	17
無形固定資産合計	1,116	1,088
投資その他の資産		
投資有価証券	4,777	5,016
繰延税金資産	200	384
退職給付に係る資産	301	292
その他	250	238
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	5,526	5,929
固定資産合計	14,803	15,068
資産合計	27,249	30,755

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,840	1,509
電子記録債務	2,468	2,316
短期借入金	3,650	5,250
1年内返済予定の長期借入金	1,432	1,581
未払法人税等	212	15
契約負債	595	1,477
賞与引当金	383	169
保証工事引当金	127	131
受注工事損失引当金	50	15
リース債務	229	203
その他	1,035	1,103
流動負債合計	12,025	13,773
固定負債		
長期借入金	2,432	4,117
リース債務	356	215
繰延税金負債	1,213	1,357
退職給付に係る負債	1,784	1,825
資産除去債務	294	292
その他	4	5
固定負債合計	6,085	7,813
負債合計	18,111	21,587
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,628	60
資本剰余金	46	2,616
利益剰余金	3,974	3,992
自己株式	△9	△126
株主資本合計	6,640	6,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,269	2,425
繰延ヘッジ損益	12	2
為替換算調整勘定	79	81
退職給付に係る調整累計額	75	57
その他の包括利益累計額合計	2,437	2,566
新株予約権	59	57
純資産合計	9,137	9,168
負債純資産合計	27,249	30,755

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	15,277	15,961
売上原価	12,091	12,030
売上総利益	3,185	3,931
販売費及び一般管理費	3,602	3,892
営業利益又は営業損失(△)	△416	38
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	190	164
その他	23	10
営業外収益合計	217	178
営業外費用		
支払利息	73	85
その他	15	12
営業外費用合計	89	97
経常利益又は経常損失(△)	△289	118
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	2	0
特別損失		
投資有価証券評価損	—	6
特別損失合計	—	6
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△286	112
法人税、住民税及び事業税	84	49
法人税等調整額	39	△106
法人税等合計	124	△56
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△410	169
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△410	169

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△410	169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	530	159
繰延ヘッジ損益	6	△9
為替換算調整勘定	30	1
退職給付に係る調整額	△35	△17
その他の包括利益合計	532	134
四半期包括利益	122	303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122	303
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(資本金及び資本準備金の額の減少)

当社は、2024年3月29日開催の取締役会決議及び2024年6月25日開催の定時株主総会の承認可決により、会社法第447条第1項及び会社法第448条第1項の規定に基づき、資本金を2,568百万円及び資本準備金を1,185百万円減少し、その全額をその他資本剰余金へ振り替えました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が60百万円及び資本準備金が15百万円となっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減するとともに、対応する金額をその他の包括利益累計額のうち、適切な区分に加減し、当該期首から新たな会計方針を適用しております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。この結果、前連結会計年度の「繰延税金負債」が176百万円減少し、「利益剰余金」が同額増加しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	553百万円	581百万円
のれんの償却額	67百万円	67百万円

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	製造業向け	建設業向け	レジャー			
売上高						
一時点で移転される財 又はサービス	6,202	3,792	1,813	11,808	—	11,808
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	389	2,518	561	3,468	—	3,468
顧客との契約から生じる 収益	6,591	6,311	2,374	15,277	—	15,277
外部顧客への売上高	6,591	6,311	2,374	15,277	—	15,277
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,591	6,311	2,374	15,277	—	15,277
セグメント利益又は 損失(△)	432	△150	383	665	△1,081	△416

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△1,081百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,095百万円、貸倒引当金の調整額0百万円及びセグメント間取引消去13百万円であります。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	製造業向け	建設業向け	レジャー			
売上高						
一時点で移転される財 又はサービス	5,530	4,635	1,843	12,009	—	12,009
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	506	2,663	783	3,952	—	3,952
顧客との契約から生じる 収益	6,036	7,298	2,626	15,961	—	15,961
外部顧客への売上高	6,036	7,298	2,626	15,961	—	15,961
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,036	7,298	2,626	15,961	—	15,961
セグメント利益	386	547	284	1,218	△1,179	38

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△1,179百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,195百万円、貸倒引当金の調整額0百万円及びセグメント間取引消去14百万円であります。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。